



白桜小だより

平成 29 年度 7 月 号
中野区立白桜小学校
校長 宇賀神 佳子
平成 29 年 6 月 30 日発行

手をたずさえて

副校長 藤原 留美子

「子供達が安全に登校できるよう配慮してほしい。」先日行なわれた、「上高田小学校と新井小学校の統合に伴う通学区域の変更説明会」の席上、保護者の方から出された要望です。当初、上高田 2 丁目と 3 丁目は平成 32 年度には本校の通学区域になる計画でしたが、入学児童を推計し直したところ本校の受入れ可能な児童数を遙かに超えることが判明したため、通学区域の見直しが図られました。ゆくゆくは本校の学区になるとの説明から、平成 27 年度からの区域外就学の特例で本校に入学した児童が 35 名います。そして線路を越えて通学する事への安全面の不安等の理由で区域外就学の申請をして本校に通学している児童を合わせて 58 名の児童が、上高田 2・3 丁目から通学しています。

上高田本通りの横断が危険であるため、昨年度から朝の登校時間帯は、保護者の方が見守りをしてくださっています。3 年前、民生児童委員さんが横断舗道の設置を提案してくださった危険箇所です。当時、PTA 執行部・生活安全部と学校から野方署に、昨年度は通学路の安全点検を通して区に要請をしていました。先の説明会では安全確保の意見に繋げて、地域の方そして学校から、横断歩道の設置、上高田 2・3 丁目の通学路の設定をお願いしました。横断歩道については、今夏の設置がかないそうです。今後、上高田小学校と本校の通学路のすり合せを行ない、両校の児童が安全に通学できるように検討をしていきます。この 4 月、上高田 2・3 丁目の子供会へのお誘いを、本校の児童へもいただきました。「小学校は異なるけれど、地域で慈しみ育てていく子供たちです。」とおっしゃってくださいました。「この町に学ぶしあわせ 仲良しみんな せかいの子ども」と児童が親しみを込めて歌う校歌の通り、地域の皆様が目を細めて子供たちの事を育ててくださっていることを、ありがたく思います。そして、保護者の皆様からは、

- ・競技ではリレーが一番応援に熱が入りました。娘の色は最下位になってしまい、昼食時に悔し涙を流していました。真剣に練習に取り組み、全力で頑張ったんだなど成長を感じました。
- ・当日はとても暑い中・高学年の騎馬戦やリレーはとても迫力があり、さすがです。力の入った応援団や、それぞれの役割で運動会を支えていた高学年の姿が印象的でした。
- ・ベビーカーやチェアの持ち込みを禁止したり、保護者席の通路を予め整備したり等、運営の改善がとても良かったです。受付がスムーズだったこともありがたかったです。
- ・今回、水分補給のアナウンスがありましたが、暑さ対策のためには、今後種目を減らすなどして時間短縮できないものでしょうか。

5 月に実施した運動会について、今年度もたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。お子さんの活躍に声援を送られた様子が伝わってくる感想や、児童の生き生きと活躍する姿を誉めてくださる中で、次年度に向けての課題と改善点等も、お寄せくださいました。

このように行事の度にいただく感想は、全教職員で読み、今後活かしています。特に、良さを誉めていただくと嬉しいですが、「もっとこうした方がいい」点は、十分に検討します。それは、企画 (Plan) し、実行 (Do) してみ、振り返り (Check)、改善 (Action) することで、より良い実践に繋がると考えるからです。現在、教職員で次年度の実施に向けて、検討を重ねています。地域の皆様・保護者の皆様と共に、今を大切にしつつ、より良い方向へと進化してまいります。